

観光プランナー養成校に認定

九州初、延岡市のプリンスホテル

延岡市祇園町のプリンスホテル株式会社（吉岡俊彦代表）がこのほど、社団法人日本観光士会の「観光プランナー養成校」として認定された。吉岡さんは県内初の同会認定講師、同校は九州初の認定校となった。

地域活性化の分野で活躍できる人材。また、プランナーに続いて「観光士」「観光コーディネーター」と、より専門性が高くなる。最難関の観光コーディネーターは、コンサルタントレベルの知識を持ち、地域資源を生かした観光と特産品の企画・開発、それらを生かしたまちづくりの提案などを

行う。

同社は職業訓練や心理カウンセリング、国や県などの委託を受けての求職者支援事業を展開。観光事業のための人材育成にも力を入れており、このため、まずは吉岡さん自身が三つの資格に挑戦した。

吉岡さんは「入りの口の資格になります。まずはプランナー養成を契機に、観光事業で活躍できる人材の底辺拡大に役立てたい」と意欲を燃やしている。

吉岡さんは平成26年11月に観光プランナー、同翌月に観光士、昨年7月に観光コーディネーターと、同会認定の資格を次々に取得。必死で勉強しました」と、振り返る。

同社が認定を受けたことを、延岡観光協会（谷平興二会長）も、「観光のべおか」の追い風になる」と高く評価。谷平会長は「有償ガイドの『延岡方いーどマン養成塾』もスタートしており、良

次々に取得。必死で勉強しました」と、振り返る。協会の職員を対象にプランナーの資格取得をめざし

もスタートしており、良次々に取得。必死で勉強しました」と、振り返る。協会の職員を対象にプランナーの資格取得をめざし

観光コーディネーターたい。今後、プランナーの資格を持つ人が、有償プランティアとして活躍できる機会も多くなると

思います」と期待を込め録証が交付された。

て39。